

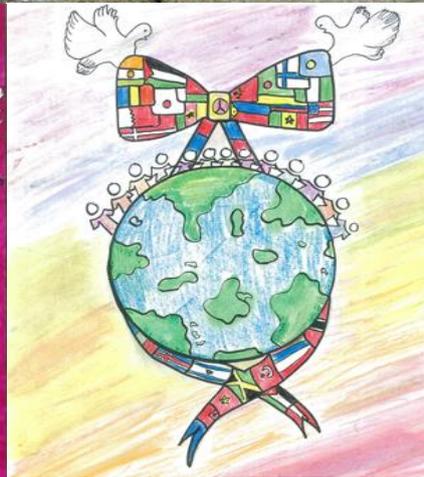


PEACE
PIECE
PROJECT

一般社団法人ピースピースプロジェクト

活動報告2020

Published in February 2020



<https://peacepieceproject.com>

 peacepieceproject

CONTENTS

■ 代表メッセージ	4
■ 企業プロフィール	6
■ 子ども世界平和サミット™	7
■ 平和教育の推進	8
■ 平和教育の教科書づくり	10
■ 寄贈・活用実績	13
■ 小学5～6年生の子ども達からのご感想	14
■ 啓発活動、応援サポーター募集	16
■ 海外での活動	18
■ メディア掲載・出演	19
■ 応援サポーター募集	22



**ピースピースプロジェクトは
平和を創る子ども達を育て
世界平和を実現します**

「ピースピースプロジェクト」という名前とロゴには、
「ひとりひとりの小さな愛のかけら(Piece)が集まれば、
大きな平和(Peace)を創りだすことができる」
という意味を込めています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

紛争のある国や地域で暮らす子どもたちは約2億5000万人。
たくさん子ども達が争いごとや暴力、環境破壊で命を奪われたり、
家族を失うなどのつらく悲しい思いをしています。

ピースピースプロジェクトは、
世界各地の子ども達と「子ども世界平和サミット」を開き、
子ども達が安心して暮らせる地球を創ることで、世界平和実現を目指します。

すべての活動は、国連が推進する人間、地球及び繁栄のための行動計画
「持続可能な開発目標 (SDGs)」の達成に貢献しています。

代表からのメッセージ

平和を創る子ども達を育て、 子ども達が安心して暮らせる地球を創る

私たちは、世界平和の実現を目指し、2009年より、平和を創る子ども達を育てる活動を開始致しました。

活動開始から10年が経過し、これまでに、

- ・「世界一大きな折り鶴」でギネス記録を達成
- ・広島にオリンピックを招致する応援隊を結成し、60万を超える署名を市長に提出
- ・日本の復興を伝える漫画を原出版

など、本当にたくさん子ども達と活動に取り組むことができました。ここに多くの皆様からのご厚志に対し、心より感謝を申し上げます。

ところで、「世界平和」と聞いても、具体的なイメージが湧かない方もいらっしゃるかもしれません。

第二次世界大戦後、長い月日が経つにつれ、戦争があった当時の事を直接体験して復興を記憶されている方は非常に少なくなってきています。

私たちは、今の平和が多く先人達の努力により維持されているという事や、先人達が、どのように平和を築いてきたのかを学ばなければなりません。

世界では、約2億5000万人の子ども達が紛争のある国や地域で暮らしています。

どんな環境に生まれ育った子どもであっても、子ども達が安心して暮らせる地球を創ることは、非常に緊急かつ重要な課題です。

ピースピースプロジェクトは、世界平和実現とは、子ども達が安心して暮らせる地球を創ることとし、その実現のために、平和を創る子ども達を育てています。

子ども達を育てる方法として、まず第1に、子ども世界平和サミット™を開催します。各国元首が現在使用されている衆議院議員会館の国際会議室にて、多国籍の子ども達が集い、



「どのように地球規模で平和を実現していくのか」を話し合い、子ども宣誓を行います。その宣誓を基に行動計画を立て、実行し、報告することで平和を創る子ども達を育てます。

第2に、平和教育を推進します。

現在、日本の学校の授業で「平和教育」という教科はありません。

社会科の授業で戦争の歴史を学んだり、国語科の授業で体験小説や詩を取り扱うだけではなく、「どうやって平和を創るのか」を具体的に考える学びの場を教育機関と一緒に創ります。

第3に、この活動の仲間を増やすための啓発活動や応援サポーター募集を致します。

2億5000万人の子ども達が安心して暮らせる地球を創るには、多くの理解者や応援者が必要です。私たちの活動を広く知っていただくために、国際的なサミットでのスピーチ、講演会を開催致します。

このように、私たちは世界平和実現のために、平和を創る子ども達を育てる活動を推進しております。活動にご賛同いただけましたら、

是非、私たちの活動の応援サポーターになってください。（詳細は22ページ）

皆様のご参加をお待ちしております。

子ども達の未来が愛と平和に満ち溢れた世界になりますように。



【代表プロフィール】

広島県広島市在住、女性経営者。

8月27日、マザー・テレサと同じ誕生日。

1945年8月6日、ヒロシマ原爆投下により祖母を亡くす。

被爆した母と曾祖母から、ヒロシマ復興の歴史を聞いて育つ。

10歳の時、交通事故による脳内出血から奇跡的に生還。

生かされている感謝から、社会に役立つ起業家を志す。

現在は、再生可能エネルギー・太陽光発電所の分譲仲介など、地球益となる事業を推進

お目にかかる全ての方に幸せになって頂きたいと

願いを込めて、色彩心理学において

見るだけで幸せになるとされる

ピンク色の洋服を365日着続けている。

Google検索1位の「**ピンク社長**®」。

一般社団法人ピースピースプロジェクト
代表理事

多田多延子

マザー・テレサ写真展でのスピーチ



企業プロフィール

事業内容

ビジョン

世界平和の実現
子ども達が安心して暮らせる地球を創る

ミッション

平和を創る子ども達を育てる

<事業内容>

●子ども世界平和サミット™開催

- ・世界の子ども達による平和ディスカッション
- ・子ども宣誓

●平和教育の推進

- ・平和教育の教科書づくり
- ・教育機関との連携、漫画無料貸出、平和学習活用、学校訪問、講師

●啓発活動、応援サポーター募集

- ・国際的なサミットでのスピーチ、講演会
- ・国連での平和スピーチ
- ・活動周知や仲間づくりのためのイベント、講演会
- ・国際機関や要人の方々への漫画寄贈、活動報告など

会社概要

商号	一般社団法人ピースピースプロジェクト
設立	2015年7月15日 ※2009年5月より活動、2015年7月法人化
代表者	代表理事 多田 多延子（ただ たえこ）
事業概要	世界平和実現プロジェクト - 子ども世界平和サミット™ - 平和教育の推進 平和教育の教科書づくり
所在地	広島市南区出汐1-17-25
Tel/Fax	(082)253-0528 (FAX:(082)253-0548) ※平日9時00分～18時00分
Mail	info@peacepieceproject.com
HP	https://peacepieceproject.com
認定	世界一大きい折り鶴ギネス記録保持

子ども世界平和サミット™



写真提供 地球子どもサミット

世界平和実現の方法を、世界各国の子ども達と一緒に考える。

私たちは、世界平和実現のために主体的に行動できる子ども達を育てています。

「世界平和」とは「子ども達が安心して暮らせる地球」と定義し、子ども達自身が世界平和を実現するための方法を主体的に考える場として、子ども世界平和サミットを開催致します。

本サミットでは、各国元首が現在使用されている衆議院議員会館 国際会議室に、多国籍の子ども達が集い、「どのように地球規模で平和を実現していくのか」を話し合い、子ども宣誓を行います。その宣誓を基に行動計画を立て、実行し、報告することで平和を創る子ども達を育てます。

◆プログラム（予定）

子ども世界平和サミット™ ～ 地球の平和は、僕らが創る！

- 大臣ご挨拶
- 世界の子ども達による
“平和”ディスカッション
「どうやって地球を平和にするのか」
～ 身近にある本を活用して平和の創り方を考える
- 子ども宣誓！



サミット開催を応援しよう！



応援サポーターに登録
月1,000円(1日33円)からの
毎月応援コースです
※詳細は22ページ参照

平和教育の推進

心理学者エリク・H・エリクソンの「心理社会的発達理論」によれば、5～12歳の発達の時期を「学童期（school age）」と言います。

善悪についての理解と判断ができるようになったり、物事をある程度対象化して認識し、対象との間に距離をおいた分析ができるようになり、知的な活動においてもより分化した追究が可能となります。学童期は、心と体に成長、発育をもたらす非常に重要な時期と言われています。

私達は、その重要な学童期に子ども達が平和の大切さを学び、考え、行動、報告することで、世界平和を実現する子ども達を育てます。



また、スイスの発達心理学者・児童心理学者ジャン・ピアジェの「認知発達理論」によれば、7～11歳で、論理的思考力が発達し、他人の立場に立ったものの考え方ができる（具体的操作期）ようになり、11歳から、今までの知識・経験を応用して仮説を立て、「もしこの場合だったらどうなるのか」など、結果を予測して行動・発言できる（形式的操作期）ようになります。

学童期と重なるこの時期に、学校教育法の義務教育の目標「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養うとともに、進んで外国の文化の理解を通じて、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと（第21条）」を達成する教育を行うことで、未来を拓く主体性のある子どもを育成致します。

その為に、子ども世界平和サミットの開催、教育機関と連携した平和教育の推進、応援サポーターを増やす活動を展開してまいります。

7～11歳

具体的
操作期

- ・ 論理的思考が発達し、相手の気持ちを考えて発言・行動できるようになる

- ・ 数的概念を理解し重さ・長さ・距離などを比較可能に

1. 保存性の習得
2. 脱自己中心性

11歳～

形式的
操作期

- ・ 抽象的思考ができるようになる

- ・ 説明・映像などから具体的なイメージを描くことができるし

- ・ 知識・経験を応用し、仮説を立て、結果を予測して行動・発言できる

▲ ピアジェの「認知発達理論」

教育機関との連携

- ・下関市教育委員会との連携で、下関市のすべての小・中学校72校での平和学習
- ・夢が丘中学校、誠意小学校への訪問、平和授業



- ・教育長、市長訪問、活動報告
- ・広島市教育委員会との連携で、広島市内全小・中・高校216校図書館への寄贈



下関市教育長 児玉典彦氏



広島市教育長 糸山隆氏



広島市元教育長 尾形完治氏

- ・広島市立幟町小学校、広島市立中島小学校への訪問
- ・朝日塾小学校（岡山）と修学旅行事前学習、修学旅行当日のご案内



他、広島市経済観光局観光政策部との連携で、修学旅行生の平和学習資料として600冊寄贈、電子書籍や学習用PDFの提供、関東学院大学 教育学部こども発達学科の学生との平和教育ディスカッション

平和教育の教科書づくり

戦後、精神面・生活面で奇跡的な復興を遂げたヒロシマ。誰かを恨んだり、憎む心で停滞することなく、恕す心で前を向いて生き抜いた、強く美しい女性たちの姿を漫画化し、平和教育の教科書にしました。

復興の歴史を学ぶことで、日本の文化を尊重し、それらをはぐくんできた先人と郷土を愛する心を養うとともに、進んで外国との関係や考え方の理解を通じて、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する心を養うことで、未来を拓く主体性のある子どもを育成致します。

【活用実績】 山口県 下関市全ての小・中学校 72校、幟町小学校(広島)、中島小学校(広島)、朝日塾小学校(岡山)、半田小学校(愛知) その他多数



Amazon Kindleにて電子書籍を無料配信中

下記のQRコードより、どなたでも無料でお読みいただけます。授業でのご活用も大歓迎です。
※教育機関向けに書籍の無料貸出もごさいます。事務局までお気軽にご相談ください。
※書籍版はお求め頂くこともできます。※1,500円(税別)

日本語版



英語版



フランス語版



書籍購入用



オバマ大統領、キセキのヒロシマを読んで感動！

2016年4月14日、オバマ大統領広島訪問実現に向けて、駐日米国大使のキャロラインケネディ米国大使に、英語版のキセキのヒロシマを贈呈致しました。

すると、ケネディ米国大使から、「ワシントン」（オバマ大統領）にも送る」とお礼状を賜り、2016年5月27日に、オバマ大統領の広島訪問が実現致しました。後日、オバマ大統領から、「あなたの物語に感動した」とお礼状を賜りました。



<オバマ大統領からのお手紙 日本語訳>

親愛なる多延子さん

私はあなたの物語に感動しました。

私は核兵器のない世界の実現への取り組みを再確認するために、広島を訪問しました。

私たちは、歴史を直視し、こうした悲劇を二度と再び繰り返さない様に、私たちが何をすべきかを自問するという共通の責任があります。被爆者によって設定された例を通して、私たちは戦争の力ではなく、共通の人間性によって自分自身を定義することができます。あの運命の日から、私たちは希望をもたらす選択もしてきました。あなたの物語は、私達がどこまで来たかの証です。

より多くの人々が過去を理解し、思いやりを抱く時間があれば、より明るい、より平和な将来が待ち受けていると確信しています。あなたの物語を私と共有してくれてありがとう。あなたの人生に幸あれ。バラク・オバマ



AMBASSADOR OF
THE UNITED STATES OF AMERICA
TOKYO

April 21, 2016

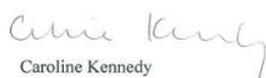
Ms. Taeko Tada
Representative
Peace Piece Project
1-17-25 Deshio, Minami-ku,
Hiroshima-shi, Hiroshima 734-0001

Dear Ms. Tada:

Thank you so much for sending two copies of *The Hiroshima Miracle – Hiroshima is in the Pink*. I look forward to sharing them with my Embassy colleagues and guests. We will also send a copy to Washington. I appreciate your thoughtfulness.

The foundation of the U.S. Government's non-proliferation efforts is the clear understanding and recognition of the human consequences of the use of nuclear weapons. I was deeply moved by my visits to Hiroshima and Nagasaki and hope that these visits help to advance President Obama's goal of realizing a world without nuclear weapons.

Sincerely,


Caroline Kennedy

THE WHITE HOUSE
WASHINGTON

November 3, 2016

Ms. Taeko Tada
Hiroshima, Japan

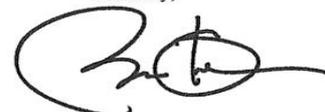
Dear Taeko:

Thank you for writing to Ambassador Kennedy. I am moved by your story.

I visited Hiroshima to reaffirm my commitment to working toward a world without nuclear weapons. We have a shared responsibility to look directly into the eye of history and ask what we must do differently to prevent such suffering from ever happening again. It is through the examples set by the hibakusha that we are able to define ourselves not by our capacity for war, but by our common humanity. Since that fateful day, we have made choices that give us hope, and stories like yours are a testament to how far we have come. So long as more people take the time to understand the past and embrace compassion, I am confident a brighter, more peaceful future lies ahead.

Thank you, again, for sharing your story with me. I wish you all the best.

Sincerely,



キャロライン・ケネディ駐日米国大使からのお礼状

オバマ大統領からのお礼状

国連公用語 6言語での出版を目指して

これまでの実績

日本語版
6,000冊出版

英語版
1,000冊出版

フランス語版
2,000冊出版

2019年、フランス語版出版のためのクラウドファンディングを実施し、たくさんの方に応援頂きました。2020年1月、無事にフランス語版を出版することができました。改めて、皆様の応援に感謝申し上げます。

これまでに、日本語、英語、フランス語にて出版して参りましたが、世界の子供達に読んでいただくには、その国で使われている言語で活動が必要です。

まずは、多くの方が使う国連公用語6言語（英語、フランス語、アラビア語、中国語、ロシア語、スペイン語）で出版致しますので、引き続きサポートいただきますようお願い申し上げます。

クラウドファンディング 2020年 フランス語版出版の応援者

総額 **1,934,800円**

応援者 **122名**

応援企業（敬称略）

株式会社鷗州コーポレーション

株式会社mobility career

株式会社サンギョウサプライ

鳥井油業株式会社

一般社団法人資産環境改良機構

ゆき美容室

株式会社美健ガイド社

株式会社ティーエスピー

応援者（敬称略・順不同）

小田 二郎	川口 照子	森川 桜	田島 久子	進藤 典昭
寺脇 佳秀	村田 市子	山澤 亮治	田中 稔次朗	栗栖 光恵
二宮 かおる	谷口 緑	本鍋田 あゆみ	島末 久美子	李 岩
島本 文恵	太田 智子	西原 洋平	小野寺 智恵子	矢田 多都彦
与謝野 肇	尾立 道泰	平塚 知真子	井上 良一	遠藤 純也
日比 将人	川野 登美子	浅野 敬子	山下 江	坂口 あや子
永井 まさと	河合 拓志	塩田 恭子	田村 正勝	小泉 美恵子
中谷 ヨシフミ	James Row	安倍 勇作	渡辺 玲子	児玉 典彦
吉松 ころこ	比嘉 謙介	葛谷 大志	中川 日出男	トミオカ アキコ
大橋 浩一	福岡 武彦	中野 豪大	吉宗 八栄美	中内 玲子
伊藤 雅人	中村 万紀	山本 昌宏	河田 和子	石山 空来
河合 伴治	榊原 卓哉	柳生 輝明	力石 恒治	田嶋 加代子

他、62名の寄付者様や、クラウドファンディングのためにイベントを企画して下さった皆様、フェイスブックなどSNSでシェアいただき、活動を応援して下さいましたすべての皆様に感謝申し上げます。

寄贈・活用実績

【著名人】

- ・ノーベル平和賞受賞 第44代アメリカ大統領 **バラク・オバマ**様
- ・キャロライン・ケネディ元駐日米国大使
- ・アラブ首長国連邦王族関係者 **アリ・アル・マダニ**様
- ・アリババグループ 孫炯副総裁
- ・国連開発計画(UNDP) アルメニア駐在員 **ドミトリー・マリヤシン**様
- ・国際女性商工連盟(IWFCI) 創始者 **ダイアナ・R・アブルツツィ**様
- ・世界女性企業家協会(FCEM) 世界代表 **マリー・クリスティーヌ・オグリ**様 他多数



オバマ様妹君
ハワイ大学 平和学研究者
マヤ・カッサンドラ・ストロ様



モナコ公国プリンセス
キャサリン・コロナ・
デ・スティリアーノ様



駐日フランス大使
ローラン・ピック様

【学校・教育機関など】

- ・山口県 下関市全ての小・中学校 72校、幟町小学校(広島)、中島小学校(広島)、朝日塾小学校(岡山)、半田小学校(愛知) への漫画「キセキのヒロシマ」無料貸出
- ・国立国会図書館、広島市内全小・中・高校216校図書館、平和記念資料館、広島市内の図書館12館
- ・広島市経済環境局観光政策部 (※修学旅行生の平和学習資料として600冊)
- ・ニューヨーク市立図書館 ・ニューヨーク日本語補習校1校
- ・スペシャルミュージックスクール(ニューヨーク)
- ・パリ インターナショナルスクール ・EIBビクターヒューゴスクール (フランス・パリ)
- ・マゴソスクール (ケニア孤児院) 他、フィリピンのストリートチルドレン支援施設など多数

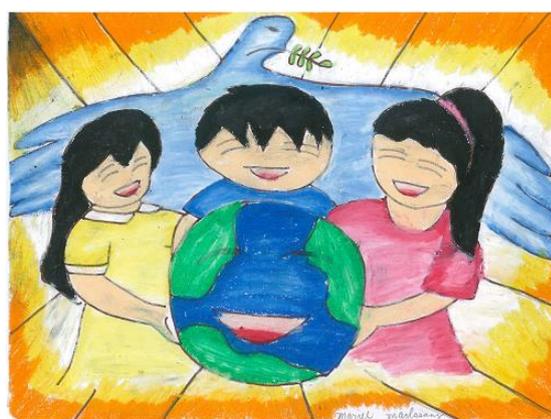


NPO法人グローブジャングル
くっくま孤児院(カンボジア)



NPO法人セブンスピリット(フィリピンセブ島)

キセキのヒロシマを読まれた子ども達が描いてくださったポスター



フィリピン・セブ島のストリートチルドレンの子どもの感想



何がおこったとしても、他の人を憎まず、前を向いて幸せな人生を歩いていきなさい」のシーンが大好きです！

My favorite scene is when Taeko and her mother talking and Taeko's mother said that, no matter what happens, you won't hate other people you'll move forward and make your life a happy one!. I like it very much.

この他にも、「生きる大切さについて知りました」、「人の温かさや、前を向き進む力についても深く考えることができました」、「これから自分はどうしていくべきか、どうすればいいのかをきちんと考えて生きていきたい」など、子ども達が平和について純粋な想いで感想をくださっています。

この活動の輪を広げ、世界平和を実現する子ども達を育てて参りますので、どうか応援サポーターに登録いただき、継続的な応援をいただきますようお願い申し上げます。サポーター登録はこちら：<https://peacepieceproject.com/p-support>（詳細は22ページ参照）

啓発活動、応援サポート募集

世界女性企業家協会(FCEM)世界大会 inロシア、マケドニア共和国「マザーテレサ記念館」主催 マザー・テレサ写真展、パイロットインターナショナル日本ディストリクト、公益社団法人経済同友会「同友クラブ」、L.B.A.女性企業家協会、広島経済活性化推進倶楽部、一般財団法人お好み焼きアカデミー、東京都倫理法人会港区、東京都倫理法人会中央区、上野倫理法人会、KKC、広島東南ロータリークラブ、広島安佐ロータリークラブ、広島ハワイ友好提携締結20周年記念 第1回広島ハワイ次世代ビジネスリーダーズ・プログラム（ハワイ州・ホノルル日本人商工会議所、広島県・広島商工会議所主催）、他多数



ピンクを贈りしあわせを分かち合う記念日「Pink Day」を制定

世界中でしあわせになる人を増やしたいという想いで、4月4日「Pink Day」を制定しました。
※一般社団法人日本記念日協会認定

2019年4月4日 ピンクパーティー開催

第一回目のPink Dayを記念して、ザ・リッツ・カールトン東京にて、
ピンクに囲まれたラグジュアリーなパーティーを開催し、100名の皆様にご参加いただきました。



応援企業（敬称略・順不同）

株式会社ブリリアント

一般社団法人交通事故医療情報協会

株式会社日本経営センター

株式会社日本フーズ

株式会社上薬研究所

株式会社タナカ商店

いとり歯科

三習工業株式会社

カラーテクノ株式会社

株式会社榊原

有限会社オフィス・エヴァ

株式会社アマネコ舎

富士テクノ株式会社

株式会社サンギョウサプライ

松理商店

医療法人百花繚乱

株式会社旭日不動産

ユーコーホールディングス(株)

株式会社フォース・アラウンド

森 亮司

小林 好子

ザ・リッツ・カールトン東京

(有)ひでいち (H-1 Balloon)

株式会社uk

ピンクデーイベント

「ピンクなブラックサンダープレゼント」、ピンクの文房具プレゼント、
ピンクの特別コース料理、ビルをピンクにライトアップ等、ピンクに関わるイベントを開催しました。



応援企業、
店舗（敬称略）

有楽製菓株式会社
レストランbe

コクヨ株式会社
香月産婦人科

セブン-イレブン 広島広大病院前店
セブン-イレブン広島出汐1丁目店

海外での活動

モナコ公国夏の舞踏会(王族主催)、世界女性起業家協会(FCEM)世界大会、IWFCI(国際女性連盟)、世界女性CEOサミット、フィリピン・ストリートチルドレンの学校 他多数



フィリピン・セブ島のスラムの子ども達に文具寄贈



タイのプラユット首相に活動報告



120か国加盟の女性起業家協会の世界大会にて活動報告



モナコの女性起業家に活動報告

2019年訪問国報告 - 地球2周、17か国4大陸を制覇

アメリカ (ニューヨーク、ヒューストン、サンフランシスコ、ポートランド)、フランス (ニース、サン・トロペ)、モナコ公国、ドイツ (ミュンヘン)、オランダ (アムステルダム)、ベルギー (ブリュッセル)、ロシア (モスクワ、 Санкт・ペテルブルグ)、オーストラリア (メルボルン)、ブラジル (カンポ・グランデ、サンパウロ)、アルメニア (エレバン)、カタール (ドーハ)、チリ (サンティアゴ)、メキシコ (ロス・カボス)、フィリピン (セブ島、ボラカイ島)、シンガポール、韓国 (釜山)、タイ (バンコク)、中国 (北京)、インド (デリー、ウダイプル)



メディア掲載・出演

日本テレビ「マツコ会議」、TBSテレビ「その他の人に来てみた」、共同通信、ジャパントゥタイムス、中国新聞、毎日新聞、朝日新聞、読売新聞、伊勢新聞、月刊ウェンディ広島、経済レポート、NHKラジオ第1、RCCラジオ、FMはつかいち、月刊経営誌「理念と経営」、子どもの心を育てる良書目録（広島市こども図書館発行）、チャレンジ5年生「未来発見ブック」（ベネッセコーポレーション発行） 他多数

2017年(平成29年)11月6日(月) 発行 13版S 広島 24

秋晴れの中心企業をたどって

「In the pink」は「とても元気」という意味だ。多田多延子は言う。「私も広島も、In the pink」でありたいですね。」

米大統領からの手紙

「In the pink」は「とても元気」という意味だ。多田多延子は言う。「私も広島も、In the pink」でありたいですね。」

米大統領からの手紙

「In the pink」は「とても元気」という意味だ。多田多延子は言う。「私も広島も、In the pink」でありたいですね。」

マツコ会議

会員数1000人以上！女社長の集いに潜入

世の中を変えた人は どんないざりしたのか勉強

「世の中を変えた人は どんないざりしたのか勉強」

その他な方法で1億円以上稼ぐ！

年商100億円！ピンク社長の次なる野望は？

宇宙で子どもたちと 平和サミットをしたい

「宇宙で子どもたちと 平和サミットをしたい」

2019年(令和元年)10月30日(水) 13版S 広島 24

曾祖母モデル 被爆後の復興描いた漫画

「キセキのヒロシマ」伝語で

原作者・多田さん 出版目指しCDFで支援募る

被爆後の広島で暮らしていた多田さんが「キセキのヒロシマ」の漫画を描いた。原作者の多田多延子(45)は、2019年に英語版を出して、次はフランス語版の出版を目指している。

漫画の主人公は多田さんの祖母。多田さんは、祖母の被爆体験を基に、復興を描いた漫画を描いた。多田さんは、祖母の被爆体験を基に、復興を描いた漫画を描いた。

多田さんは、祖母の被爆体験を基に、復興を描いた漫画を描いた。

2014年(平成26年)7月9日(水曜日) 中 広島 発行 13版S

漫画で描くヒロシマ復興

市民グループが第1巻出版

広島市南区の市民団体「ピースピースプロジェクト」(多田多延子代表)が、被爆地広島市の復興の歩みを描いた漫画「キセキのヒロシマ」朝陽に映えて」の第1巻を自費出版した。被爆70年の来夏までに順次、全5巻を刊行する。全巻をそろえて、全市民立校に寄贈するという。

被爆2世の多田代表が家族の実体験を基にストーリーを纏った。1巻はA5判、32頁。多田代表が広島市を訪ねてきた知人を案内し、横川川(現西区)で被爆死した祖母

8日、市役所で記者会見した多田代表は「戦争に家族を奪われながらも廃墟の中を生き抜いた大勢の女性たちの姿を伝えたい」と話した。各巻432円。ピースピースプロジェクト事務局082(253)0528。(田中美千子)

被爆からの復興を描いた「キセキのヒロシマ 朝陽に映えて」

2014年(平成26年)7月14日(月曜日) きき 広島 発行 13版S

曾祖母の前向き人生「5巻に

被爆地の復興描いた漫画出版 多田多延子さん(45)

被爆地の復興を描いた漫画「キセキのヒロシマ」朝陽に映えて」の第5巻が出版された。多田多延子(45)は、祖母の被爆体験を基に、復興を描いた漫画を描いた。

多田多延子(45)は、祖母の被爆体験を基に、復興を描いた漫画を描いた。

2019年(令和元年)11月10日(日) 発行 13版S 広島 24

平和学習に役立てて

漫画「キセキのヒロシマ」オマケ感動

広島市、学校などに貸し出し

「キセキのヒロシマ」オマケ感動

広島市、学校などに貸し出し

広島この人へ注目

戦後の広島で復興させた女性描く 漫画を自費出版。「世界一の復興都市を知って」

多田多延子さん

「世界一の復興都市を知って」

多田多延子さん

シリーズ「社長」の背中

ホワイトハウスからの手紙

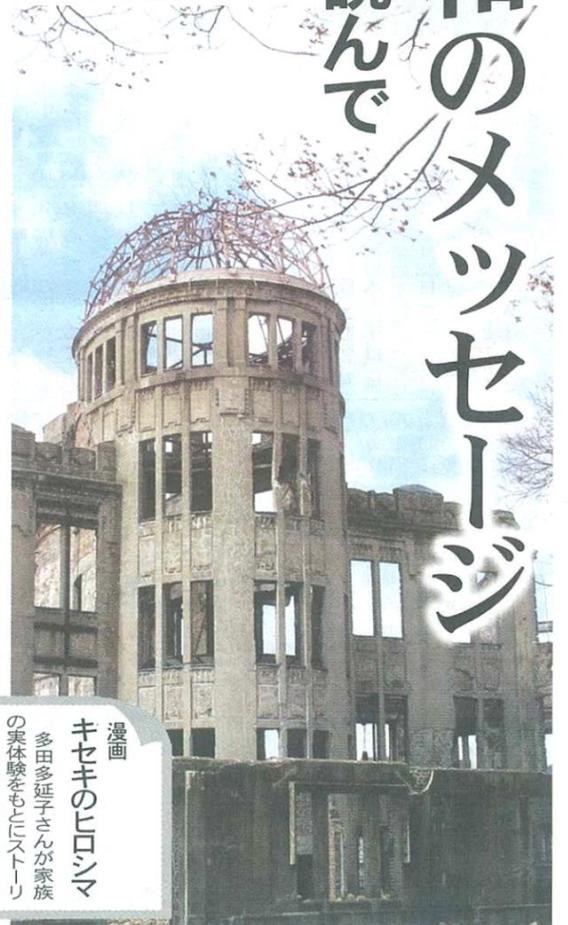
「社長」の背中

ホワイトハウスからの手紙

小学生が紡ぐ平和のメッセージ 漫画「キセキのヒロシマ」を読んで

広島市中島小6年生
半田市(愛知県) 半田小5・6年生

2018年は戦後73年目。年々、平和の尊さを自らの体験として次世代に伝える人たちが減っている。こうした中、原爆投下後の広島復興を描いた漫画「キセキのヒロシマ」を出版した一般社団法人ピースピースプロジェクト(多田多延子代表)では、学校に漫画を贈呈したり、無料貸し出ししたりしながら、子どもたちの平和教育を推進している。漫画を読んだ広島市の市立中島小6年生と、愛知県半田市の市立半田小5・6年生のメッセージを紹介する。



被爆者の支え合いが復興に／原爆について伝えたい

中島小6年生

平和であることが大切であるということを実感することができるとして、原爆のことについて考えたことはなかったけれど、「キセキのヒロシマ」という本を読み、初めて原爆のことについて、しっかりと考えることができたので良かったです。原爆のことについて考えていると、とても心が痛くなってきました。

がれきのなかで焼け出された子どもたちは、一銭洋食を食べさせていた女性の姿に、勇気や希望をもたらした気がします。副タイトルの「HIROSHIMA is in THE PINK」には、ピンクが幸せに満ちているという意味から付けられたことを知り印象的でした。広島の人々のアメリカ人を許す心を見習わなければ、と思いました。

広島は原爆で被害にあつた人々がどんなに苦しんだのか、この漫画を読み初めて知りました。

原爆考えるきっかけに／広島の人々の優しさに感動

愛知県 半田小5・6年生

広島は原爆を落とされたけど、アメリカをうらんだりせず、前向きに頑張っていて、いまではほとんど復興しているのですね。すごいな、と思いました。でもうらんだりしても、なにが変わらないということが、この本を読んでもよく分かりました。広島は力強く生きつづけたんだな、と思いました。

わたしはこの本を読んでも、まず命がどれくらいいせつなのかが分かりました。そして命は、かんたんになくなってしまう命をたいていしつかななと思いました。

この本で苦しんだ人や死んでしまった人が、どんなに悔しかったかがよく分かりました。そして、今がどんなに幸せなのかも分かりました。戦争はもうおきないでほしいです。ほくも平和のために自分からけんかの種をまかないようにしたいです。

一人ひとりの生きよう、元に戻そうという思いが今の広島になったこと、お好み焼きという広島で有名なものが一銭洋食から生まれたことを、この本から学びました。一人ひとりの人間がせいじつばい力をだすことで世の中はよくなつていく、と思いました。

相手が苦しんでいたなら無視せず、話しかけて助け合おう。今の広島がある！と思いました。カーブも、他のチームとはちがいで、広島のみなで育てたのはすごく深くいいと思います。70年間、草も木もはえないといわれていたけど、今の広島は明るく、平和ですばらしいです。

原爆のおそろしさが改めて分かりました。原爆でたくさんの方が亡くなつていましたが、生き残つ

がよいと思いました。そなたです。原爆ドームは原爆のえいきょうがどれだけ大きいか、そして戦争のおそろしさを語ってくれそうな建物ですが、原爆ドームがピンクに染まってるのを想像したら、すごく美しく力強いように思いました。ほくは平和のためにアメリカを恨まず、これからも仲良くしていこうと思

原爆のことを私も大人になつたら世界中のいろいろな人に伝えたいと思

ぼくは平和のために原爆を知らない人たちに教えようと思

漫画「キセキのヒロシマ」

多田多延子さんが家族の実体験をもとにストーリーを練り、東京の漫画制作会社が作画を担当した。壊滅的な被害を受けた原爆投下後の広島で、多田さんの母親と叔父を、女手一つで育ててきた曾祖母と、戦後の復興を支えてきた女性たちの前向きに生きる姿を描きながら、平和の大切さを伝えている。お好み焼きのルーツや、カーブ誕生の史実なども盛り込み、広島復興していく過程が時系列で描かれている。漫画は全5巻で各巻ともA5判32ページ。戦後70年に合わせて出版した。広島市内の市立小・中・高校に寄贈している他、全国の学校には無料貸し出しも行っている。英語版も2016年3月に制作した。各巻432ページで、5巻セットで2160円。インターネットで販売している。詳細はピースピースプロジェクト(082-253-0060)。



2016年3月、「The Hiroshima Miracle」（英語版「キセキのヒロシマ」）出版が
 ジャパンタイムスや共同ニュース等、海外メディアに掲載

Japan's Leading News Network
KYODO NEWS
 AROUND THE GLOBE, AROUND THE CLOCK

Site Archive Articles Photos

Search

May 31, 2016 10:14

Home All headlines Photos RSS

Obama's historic visit to Hiroshima South China Sea United Nations (Fully Accessible) Japan-China N

Opinion Pieces (Fully Accessible) Video Advisory

Politics Economy / Business Society Sports Asia Entertainment Travel / City Life

Category Focus / Feature

Page Back Read It Later Mail Share Print

Not a subscriber? See options available. >

18:09 28 May 2016

FEATURE: Women's resilience takes the stage in manga of A-bomb survivor's kin

By May Masangkay
 HIROSHIMA, May 28, Kyodo



The horrors of the world's first atomic bombing in Hiroshima are often captured in black and white photos of the devastated western Japan city and images of survivors' scars.

But Taeko Tada, whose mother survived the U.S. atomic bombing on Aug. 6, 1945, at the age of 5, has a different take on the tragedy, as her self-published manga focuses on the happier faces of women who let go of their pain, decided to forgive and helped rebuild the city.

In her book entitled "The Hiroshima Miracle: Hiroshima Is in the Pink!" Tada, 47, uses the color pink on its cover and title to reflect her desire to depict the atomic-bomb survivors' tales as one that brings hope and joy to people. Pink is her favorite color which represents joy.

To have fuller access to the Kyodo News website, it is necessary to subscribe. We offer a broad range of subscription options depending on your needs. [Learn more.](#)

Manga shows Hiroshima survival as one of joy

By May Masangkay
 HIROSHIMA

HIROSHIMA - The horror in post-bombing Hiroshima is captured in black-and-white photos of the city and its beleaguered survivors.

But Taeko Tada, whose mother survived the U.S. atomic bombing at the age of 5, has a different take on the tragedy. Her self-published manga focuses on the happier faces of women who let go of their pain, decided to forgive and helped to rebuild the city.

"The Hiroshima Miracle: Hiroshima is in the Pink!" uses the color pink on its cover to depict the hibakusha experience as one of hope and joy.

"I wanted people to know more of the brighter side of Hiroshima, that this city is in the pink and filled with happiness as a result of efforts by women like my great-grandmother to rebuild the city after the atomic bomb," said Tada, 47, a representative of the Hiroshima-based Peace Piece Project.

"Hiroshima is not just an atomic-bombed city with a sad history but also with a story of rising above the tragedy. I wanted to retell the stories of women who struggled and played key roles in reconstruction efforts and how women forgave and helped each other."

Tada's great-grandmother lost her daughter-in-law at age 56 due to the effects of the atomic bomb and raised Tada's mother alone.

Tada released the manga in Japanese in five booklets last year, to mark 70 years since the end of World War II. It was printed in English in March and will be available on iBooks.

The book was sent to American Ambassador Caroline Kennedy, who in April wrote a letter of thanks. Kennedy said a copy will be sent to Washington.

In her letter, Kennedy said she was "deeply moved" by her visits to Hiroshima and Nagasaki, and said she hopes the visits will "help to advance President (Barack) Obama's goal of realizing a world without nuclear weapons."

Tada said she was "very touched" by Obama's speech during his historic visit Friday to Hiroshima as the first sitting U.S. president to do so, especially since he mentioned a story about forgiveness, a theme that reverberates in her manga.

In his address, Obama spoke of a woman who forgave the pilot who flew the plane that dropped the bomb "because she recognized what she really hated was war itself."

Tada's 172-page book features her great-grandmother's ordeal in the aftermath of the bombing. Tada said she was very young when her great-grandmother died but vividly recalls her inspiring words about how it is better to forgive than to be stuck in the past.

The manga also features the story of a mother who cheered on a struggling baseball team in Hiroshima in honor of her son and a woman who was known as one of the "Hiroshima Maidens" invited to the United States for reconstructive surgery.

Recounting her experience in high school, Tada said she was shocked when, as a volunteer guide for foreign visitors, she was asked if the people in Hiroshima still hated Americans.

"(The) atomic bombing is a serious subject and sometimes discourages people to come here. People feel heavy after touring through the Peace Memorial Park and other atomic bomb-related sites," she said.

She said her manga received positive feedback from atomic bomb survivors, who thanked her for sharing sentiments they could not quite articulate.

"We cannot live in the past. We cannot change what happened," Tada said. Her message is to live toward the future. "This is the Hiroshima I want people to know."

APRIL 30th
 INTELLIGENCE
 NEWS
 PHOTOS
 CLICK TO ENLARGE



- RELATED NEWS
- ATOMIC BOMBING, HIROSHIMA, DISASTERS, HIROSHIMA VISIT, TAeko TADA
 - NATIONAL
 - Schools take in Tokyo mosque to get unbiased glimpse of Islam
 - Missing Hokkaido boy, 7, found alive but hungry in hut on SDP base
 - Shizuoka city marks 25 years since Fugen Peak disaster
 - Coast learns anti-Korean group from looting Kawasaki late-speech rally Sunday

ALL THE NEWS WITHOUT FEAR OR FAVOR

THE JAPAN TIMES

INCORPORATING International New York Times

Friday, June 3, 2016

ASIAN TIGERS

Y210

Manga seeks to counter gloomy stereotypes Hiroshima survival one of joy, artist says

May Masangkay
 Hiroshima
 KYODO

The horror in post-bombing Hiroshima is captured in black-and-white photos of the city and its beleaguered survivors.

But Taeko Tada, whose mother survived the U.S. atomic bombing at the age of 5, has a different take on the tragedy. Her self-published manga focuses on the happier faces of women who let go of their pain, decided to forgive and helped to rebuild the city.

"The Hiroshima Miracle: Hiroshima is in the Pink!" uses the color pink on its cover to depict the hibakusha experience as one of hope and joy.

"I wanted people to know more of the brighter side of Hiroshima, that this city is in the pink and filled with happiness as a result of efforts by women like my great-grandmother to rebuild the city after the atomic bomb," said Tada, 47, a representative of the Hiroshima-based Peace Piece Project.

"Hiroshima is not just an atomic-bombed city with a sad history but also with a story of rising above the tragedy. I wanted to retell the stories of women who struggled and played key roles in reconstruction efforts and how women forgave and helped each other."

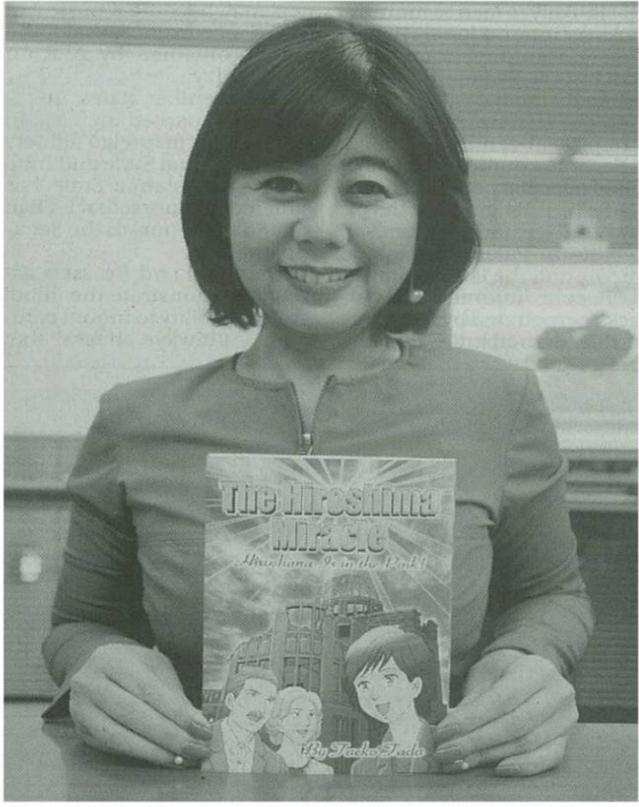
Tada's great-grandmother lost her daughter-in-law at age 56 due to the effects of the atomic bomb and raised Tada's mother alone.

Tada released the manga in Japanese in five booklets last year, to mark 70 years since the end of World War II. It was printed in English in March and will be available on iBooks.

The book was sent to American Ambassador Caroline Kennedy, who in April wrote a letter of thanks. Kennedy said a copy will be sent to Washington.

In her letter, Kennedy said she was "deeply moved" by her visits to Hiroshima and Nagasaki, and said she hopes the visits will "help to advance President (Barack) Obama's goal of realizing a world without nuclear weapons."

Tada said she was "very



Taeko Tada holds a copy of the manga she wrote about women who survived the atomic bombing, seen on May 25. KYODO

touched" by Obama's speech during his historic visit Friday to Hiroshima as the first sitting U.S. president to do so, especially since he mentioned a story about forgiveness, a theme that reverberates in her manga.

In his address, Obama spoke of a woman who forgave the pilot who flew the plane that dropped the bomb "because she recognized what she really hated was war itself."

Tada's 172-page book features her great-grandmother's ordeal in the aftermath of the bombing. Tada said she was very young when her great-grandmother died but vividly recalls her inspiring words about how it is better to forgive than to be stuck in the past.

The manga also features the story of a mother who cheered on a struggling baseball team in Hiroshima in honor of her son and a woman who was known

as one of the "Hiroshima Maidens" invited to the United States for reconstructive surgery.

Recounting her experience in high school, Tada said she was shocked when, as a volunteer guide for foreign visitors, she was asked if the people in Hiroshima still hated Americans.

"(The) atomic bombing is a serious subject and sometimes discourages people to come here. People feel heavy after touring through the Peace Memorial Park and other atomic bomb-related sites," she said.

She said her manga received positive feedback from atomic bomb survivors, who thanked her for sharing sentiments they could not quite articulate.

"We cannot live in the past. We cannot change what happened," Tada said. Her message is to live toward the future: "This is the Hiroshima I want people to know."

平和を創る子ども達を育てよう！



月1,000円から、平和を創る活動に参加しませんか？

1日あたり33円から、平和を創る子ども達を育てる活動を応援いただけます。
どうか皆さま一人ひとりの継続的なご寄付をお願い申し上げます。

サポーターの方には、最新の活動情報、特別なイベント情報などをお届け致します。

下記理念のもと、このような活動に活用させていただきます

ビジョン 世界平和の実現 ～ 子ども達が安心して暮らせる地球を創る

ミッション 平和を創る子ども達を育てる

- **子ども世界平和サミット開催** : 世界の子ども達による平和ディスカッション
- **平和教育の推進** : 平和教育の教科書 漫画「キセキのヒロシマ」を国連公用語で出版
平和学習への活用、国際機関や要人に活動報告、学校訪問、講師
- **発活動、応援サポーター募集** : 国際的なサミットでのスピーチ、講演会
活動周知、仲間づくりのためのイベント、講演会など

右ページの案内に従って、サポーターに登録してください



応援サポーターの種類と登録方法

下記、2種類のサポーターをご用意しております。
お手続きについて、ご不明な点がございましたら事務局までお問い合わせ下さいませ。

ピースサポーター（インターネット登録）

月1,000円(1日33円)からの、毎月応援コースです

※クレジットカード決済、銀行引落に対応しております

下記URLまたは、

右側のQRコードから登録ページにアクセスし、ご登録ください。

<http://peacepieceproject.com/p-support>



※専用の会員登録用URLをお送り致しますので、

登録ページにアクセスし、メールアドレスを入力・送信してください。

※毎月26日に次月分を引落させていただきます

ピース・ワンスサポーター（電話・ファックス登録）

3,000円(1日100円)から任意の金額で、1回毎の応援コースです

※銀行振込みに対応しております

下記口座に、任意の金額をお振込みいただけます。

お振込み後、事務局に

①振込金額・日時、②氏名、③ご住所、④お電話番号、⑤メールアドレスを必ずお知らせ下さい。

事務局連絡先 メールアドレス：info@peacepieceproject.com

電話番号：(082)253-0528 ※平日9：00～18：00 / FAX番号：(082)253-0548

【銀行名】ゆうちょ銀行 【店名】一三九（イチサンキュウ）【店番】139

【種目】当座 【口座番号】0104239

【口座名義】一般社団法人ピースピースプロジェクト

（ゆうちょ銀行の払込取扱票からのご送金の場合

【口座記号】01370-2 【口座番号】104239）

※事務局に、上記①～⑤のお振込み情報をお知らせ頂けない場合、

活動情報、特別なイベント情報をお送りできませんのでご了承ください。

※最終お振込み日から1年間をサポーター期間とさせていただきます。

【事務局】一般社団法人ピースピースプロジェクト

TEL: (082)253-0528 ※株式会社ティーエスピー内 平日9：00～18：00

MAIL: info@peacepieceproject.com





PEACE
PIECE
PROJECT

一般社団法人ピースピースプロジェクト 活動報告2020

Peace Piece Project Activity Report 2020

平和を創る
子ども達を育てる



peacepieceproject.com

 [peacepieceproject](https://www.facebook.com/peacepieceproject)

一般社団法人ピースピースプロジェクト (英語表記 Peace Piece Project)

【代表理事】 多田 多延子 (ただ たえこ)
【法人設立】 2015年7月15日 ※2009年5月より活動、2015年7月法人化
【所在地】 広島市南区出汐1-17-25
【電話番号】 (082)253-0528 (FAX:(082)253-0548)
【メールアドレス】 info@peacepieceproject.com
【ホームページ】 <https://peacepieceproject.com>